

都道府県名：北海道

氏名：海老江 邦雄

地域

海老江氏がご活躍された北見市は、北海道の東部、オホーツク海に面する人口約12万5千人、国内で4番目、道内では最大の総面積(1,427km²)を誇っている都市です。北見市周辺は、オホーツク海、網走湖、サロマ湖などの豊かな自然に恵まれ、国内屈指のホタテの生産地としても有名です。市内を北東に貫くように流れる常呂川の中流域には広大な北見盆地が形成され、玉ねぎの生産量は、全国一位であるなど畑作農業も盛んです。

略歴

昭和62年 8月～平成 2年 3月	網走湖水質保全検討会委員
平成 3年 3月～平成17年 3月	網走湖水質保全対策検討委員会委員、水質部会長
平成17年 6月～平成22年 3月	網走湖水環境改善施策検討委員会委員
平成19年 7月～平成19年 8月	北見市水道水の断水に関する原因技術調査委員会委員長
平成19年 8月～平成20年 3月	常呂川の濁水に関する流域対策検討会座長

功績内容

- ・網走湖の水質環境改善施策について、青潮発生のメカニズムや、富栄養化対策及びアオコの発生抑制方法を検討されるなど、長年に渡って、技術的知見から助言・提言をされ、水環境保全に貢献されてきました。
- ・平成19年に発生した常呂川の濁水による北見市浄水場の取水停止を契機に設置した検討会では、高濁度水の発生現象に関する検討や、関係機関で今後実施すべき各種対策について取り纏めを行うなど、北見市の水道事業にも貢献されました。



網走湖(空撮)

登呂川の濁水に関する流域対策検討会
(中央がご本人)

登呂川濁水状況



登呂川の濁水に関するパンフレット